

しなののうた

一、三輪巨樹の幹割り咲く花の力強さに奮い立ちゆく



杉田小百合

しなののうた

翻り翻りして散るさくら魅せられ夢のひとときに酔う

杉田小百合



しなののうた

いちめに地に敷かれたる花びらを踏みて歩めば女王の気分



杉田小百合

しなののうた

祈るがに掌合わす白木蓮ひと日を咲きて散りぎわ見事

杉田小百合



しなののうた

朝朝に雛の鶯ヶキヨケキヨと拙き声が親の真似する



杉田小百合